

事業番号	09 05 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	■補正予算案	□点検
事業名	農業農村の基盤整備事業	部局	農政部	課・室	農地整備課	
		実施期間	S25 ~	E-mail	nochi @ pref.nagano.lg.jp	

## 1 現状と課題

- ・県内の水田は、大規模な区画が少なく、区画50a以上の整備率は2%である。大型農作業機械の導入が困難なほ場も多く、過疎化・高齢化の進行により、効率的な農業生産に支障が生じている地域もある。
- ・野菜や果樹など高収益作物の導入を可能にする、水田から畠地への転換を推進しているが、ほ場の土質や排水不良等の課題があり、進んでいない。
- ・農業水利施設の多くが、耐用年数を超過する時期を迎えており、更新整備や長寿命化が急務となっている。

## 2 事業目的

- ・農地や農業用施設の条件整備を行うことにより、地域の担い手が効率的な農業を営むことができるようとする。また、地域の特性に応じた高収益作物の作付けを実現させる。
- ・農業水利施設を補修・更新することにより、安定的な用水の供給を可能とともに、施設の損壊による災害を未然に防止する。

## 3 事業目的を達成するための取組

### ①生産効率を高める農地・農業用施設の整備

- ・事業費の確定による減額

※その他の事業は当初予算及び1月補正のとおり

### ②収益性を高める農地・農業用施設の整備

- ・事業費の確定による減額

※その他の事業は当初予算及び1月補正のとおり

### ③用水を安定供給するための農業水利施設の適切な更新

- ・事業費の確定による減額

※その他の事業は当初予算、9月補正及び1月補正のとおり

## 4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし —: 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移		実績	推移			
①	農業生産コストを低減するためのほ場の区画拡大面積（累計）	ha	240	267	↗	295	↗	345			第9次土地改良長期計画におけるR9年度までの目標に基づき、R7年度の区画拡大面積（累計）を設定。
②	収益性を向上させる畠地かんがい施設の整備面積（累計）	ha	2,269	3,132	↗	3,178	↗	2,571			第9次土地改良長期計画におけるR9年度までの目標に基づき、R7年度の畠地かんがい施設の新設及び更新を行う農地面積（累計）を設定。
③	重要な農業水利施設の整備箇所数（累計）	箇所	48	60	↗	66	↗	55			第9次土地改良長期計画におけるR9年度までの目標に基づき、R7年度の重要な農業水利施設の整備箇所数（累計）を設定。

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況			目標 年/年度 数値				
				年/年度	数値	年/年度					
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,911	2024 (R6) (累計額)	4,346	2027 (R9)	3,700
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	☆再生可能エネルギー生産量	万TJ	2021 (R3)	3.0	2022 (R4)	3.0	2023 (R5)	3.0	2027 (R9)	3.7
1-3①	社会的なインフラの維持・発展										

## 6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額						決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	3,394,858	7,620,568	505,278	△ 1,396,828	11,520,704	708,341		74.6
R6年度	3,044,402	6,841,453	△ 5,817		9,880,038	773,584	6,483,078	71.3
R5年度	5,926,654	5,880,829	368,902		12,176,385	902,982	9,115,911	74.0

事業番号	09 05 03	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	■補正予算案	□点検
事業名	農業農村の基盤整備事業	部局	農政部	課・室	農地整備課	

細事業No.	細事業名	R5年度予算現額	R6年度予算現額	R7年度予算
1	農業農村の基盤整備事業	12,176,385 千円	9,880,038 千円	予算現額 11,520,704 うち今回補正額 △ 1,396,828 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県営かんがい排水事業	直接	農業水利施設の更新・補修、管理の省力化 ※事業費が確定したため減額（2,525,302千円→1,897,425千円） 実施地区 15地区	
2	県営畠地帯総合土地改良事業	直接	畠地かんがい施設の更新、畠地の区画整理 ※事業費が確定したため減額（1,643,784千円→1,378,021千円） 実施地区 11地区	
3	経営体育成基盤整備事業	直接	水田の区画整理、用排水路・農道の整備 ※事業費が確定したため減額（1,825,521千円→1,630,971千円） 実施地区 11地区	
4	県営農道整備事業	直接	農道橋の耐震化、安全施設の整備 ※事業費が確定したため減額（87,150千円→63,000千円） 実施地区 1 地区	
5	県営中山間総合整備事業	直接	中山間地域における農業生産基盤と農村生活環境の整備 ※事業費が確定したため減額（888,300千円→759,818千円） 実施地区 10地区	
6	団体営土地改良事業	補助金	小水力発電施設設置への支援 農業水利施設や農道の改修、区画整理への支援 ※事業費が確定したため減額（2,442,408千円→2,287,360千円） 実施地区 110地区	
7	県単農業農村整備事業	補助金	①土地改良区等が行う農業水利施設等の整備への支援 ②農業用水需要ピーク期の電気料金高騰分の一部を支援 実施地区 ①42地区 ②20地区	
8	農村地域整備基礎調査事業	直接	農業農村整備事業の計画策定等に必要な基礎資料の収集整理（整備実績等の調査） ※事業費が確定したため減額（800千円→342千円） 調査対象 77市町村	
9	地下かんがいシステム導入促進事業	直接	地下かんがいシステム「FOEAS」の実証試験の実施及び実証展示会の開催 実証展示会 1回	
10	信州棚田ネットワーク推進事業	直接	棚田保全団体と企業等とのマッチング 棚田パートナーシップ協定締結 1企業等	
11	ふるさと信州棚田支援事業	補助金	棚田地域における土地改良施設や農地の保全整備等を行う地域住民活動への支援 支援団体 10団体	
13	中山間地域の水田における用水管理の省力化事業 ～スマホで簡単らくらく水管理～	直接	自動給水栓を利用した田越しかんがいと自動分水システムのモデル実証及び啓発 実証実験 県内各地	
14	畦畔の緩傾斜化による草刈りの省力化事業	直接	既存畦畔を活用した自動草刈り機のモデル実証及び啓発 ※事業費が確定したため減額（500千円→0千円） 実証実験 県内 1箇所	
15	農業農村整備GIS構築事業	直接	GISを活用した農業農村整備事業実績管理システムの構築 システムの構築	